



# **FUKUOKA**

## **TRIATHLON 2022**



**JAPAN**  
**TRIATHLON**

**AGE GROUP**

**NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES**

**ATHLETES GUIDE**

# CONTENTS

- 003 開催概要
- 004 当日スケジュール
- 005 コースマップ
  - 競技コース全域 MAP
- 006 SWIM コース MAP
- 007 トランジションエリア MAP
- 008 バイクラック詳細
- 009 BIKE コース MAP
- 010 RUN コース MAP
- 011 競技配布物
- 013 再発行・QR コード
- 014 大会前日までに
  - 準備しておくべきこと
- 015 競技規則
- 021 選手ナビゲーション
- 022 当日
- 023 受付・駐車場ほか
- 024 危険ポイント案内
- 025 駐車場案内
- 026 スタートリスト
- 030 SPONSER



 **JAPAN**  
**TRIATHLON**

---

**AGE GROUP**  
**NATIONAL CHAMPIONSHIP**  
**SERIES**

## 開催趣旨

2017年に初めて開催された福岡トライアスロンは、「産・学・官」と地域社会を結びつけることを主たる使命とし、地域の皆様のご協力の下に開催することができました。2019年では、ノーマライゼーションを掲げて、パラボランティアとともに「パラプロジェクト」を新たに立ち上げました。今後も、大会を継続的に開催することで、地域社会の新興や競技の普及の一助となっていくことを望んでいます。そして、【誰もが住み慣れた地域で心身ともに健康で自分らし暮らしを、「ひと」も「まち」も幸せになれる福岡】づくりに寄与し、全ての人が平等である社会の実現を目指します。

## 開催概要

大会名称	<b>福岡トライアスロン2022</b> 2022JTUTライアスロン エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズ
開催期日	2022年6月26日(日) 07:30~13:30 ※開会式~閉会式終了まで
開催地	福岡県福岡市東区志賀島一带 (大会本部:志賀公民館)
競技内容	【スタンダードディスタンス:51.5km】 スイム:1.5km / バイク:40km / ラン:10km ※スイム:750m×2周回 / バイク:志賀島×4周回 / ラン:2km×5周回
記録・計測	ネオシステム
主催	福岡トライアスロン組織委員会(構成団体:SDF、福岡県トライアスロン連合、日本トライアスロン連合)
主管	福岡県トライアスロン連合
後援(予定)	福岡市、在福岡米国領事館、福岡商工会議所、九州経済連合会、博多21の会、福岡青年会議所、福岡県中小企業経営者協会連合会、アピスバ福岡、福岡県専修学校各種学校協会、NPO法人福岡市障害者関係団体協議会
協力(予定)	福岡みらい病院、九州産業大学、志賀商工会、西戸崎校区自治協議会、志賀島自治連合会、志賀島・海の中道サイクルツーリズム協議会、台湾厚徳会、社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会、全国柔整鍼灸協同組合
協賛	NTT西日本、九州電力、三和シャッター工業、QTnet、福岡みらい病院、D-WOLF、福岡トヨタ、サニクリーン九州、ふくや、福岡ロジテム、九州産業大学、福岡地所、アバマンショップ、福岡外語専門学校、にしけい、夢源、LIXIL、新日本製菓、松本組、味の素、九電工、セイコーメディカルプレーン、アイ広告社、株式会社コバレイト、三好不動産、コリンジャパン、リベラルアーツ、スリーアール、クリスマスマーケット、ミカサ、増田石油、はたなか、博多の森不動産、オーレック、廣田商事、野間薬局、福岡グリーン産業、イシカワ、松山建設、トライアンド、西日本シティ銀行、福岡銀行、西日本鉄道、トクスイコーポレーション、丸松セム、三幸学園、妹尾産業、未来図建設、ファインロジテック、あおやぎ、トレードモール、篠原公認会計士事務所、桑原法律事務所、デコール、大村美容ファッション専門学校、博運社、Men's Beauty Salon VEALIS、にしで歯科医院、ホームランシステムズ、佐藤、NAS、HUUB、小笠原、九州旅客鉄道、西部ガス、米田建設、米田建築工房、九州自動車リース、CASE、安恒組、バンベルク、五光建設、山本設備工業、ヤマカワ装飾、シーサイドリアルエステート、中村学園大学、ビジネスリファイン、Cytix、メディジャパン、ピエトロ、レッドブル・ジャパン
オフィシャルサプライヤー	クリニック、大塚製薬工場、ニュートリー、南国フルーツ、まさごや、浜幸家、満帆荘、シャワー、食堂なぶら、勝山商店、花屋ひより、日本ストライカー
メカニックサポート	イワイスポーツサイクル、サイ克蘭ドリライシ、正屋
スペシャルサンクス	テレビ西日本、海の家「きぼらし」「丸良」「福助」

## 6月26日(日) 大会当日

時間	内容	場所
05:00 ~ 06:30	大会会場入り	A・B・C：選手向け駐車場エリア
05:30 ~ 07:00	受付	志賀公民館
05:30 ~	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア(志賀島海水浴場)
05:30 ~ 07:25	トランジション準備	トランジションエリア(志賀島漁港駐車場)
06:45 ~ 07:25	入水チェック	スイムエリア(志賀島海水浴場) ※スイムスタート計測地点
07:00 ~ 07:25	試泳	スイムエリア(志賀島海水浴場)
07:30 ~	交通規制開始	志賀島外周道路
07:30 ~	開会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)
07:45 ~ 07:54	レーススタート	
08:30	スイムスキップリスタート	
08:44	スイム制限時刻	スイムエリア/スイムフィニッシュ計測地点
08:59	バイクスタート制限時間	トランジションエリア/バイクスタート計測地点
10:25	バイク制限時間	志賀島入口計測地点
~ 11:00	交通規制解除	志賀島外周道路
12:24	ラン制限時間	フィニッシュゲート(志賀島漁港)
12:30	表彰・閉会式	スイムエリア(志賀島海水浴場)

### 注意

※本大会では事前の競技説明会は行いません。こちらの「ATHLETES GUIDE」が競技説明会の代わりになるものですので、熟読し内容を把握した上で大会に臨んでください。

※後日、Googleフォームを使った「**体調管理チェックシート**」を配信します。大会当日から遡って2週間前からの体調チェックと1週間前からの体温確認などが含まれます。必ず大会前日に回答するようにしてください。

**[6月25日(土)16:00まで] <回答がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。>**

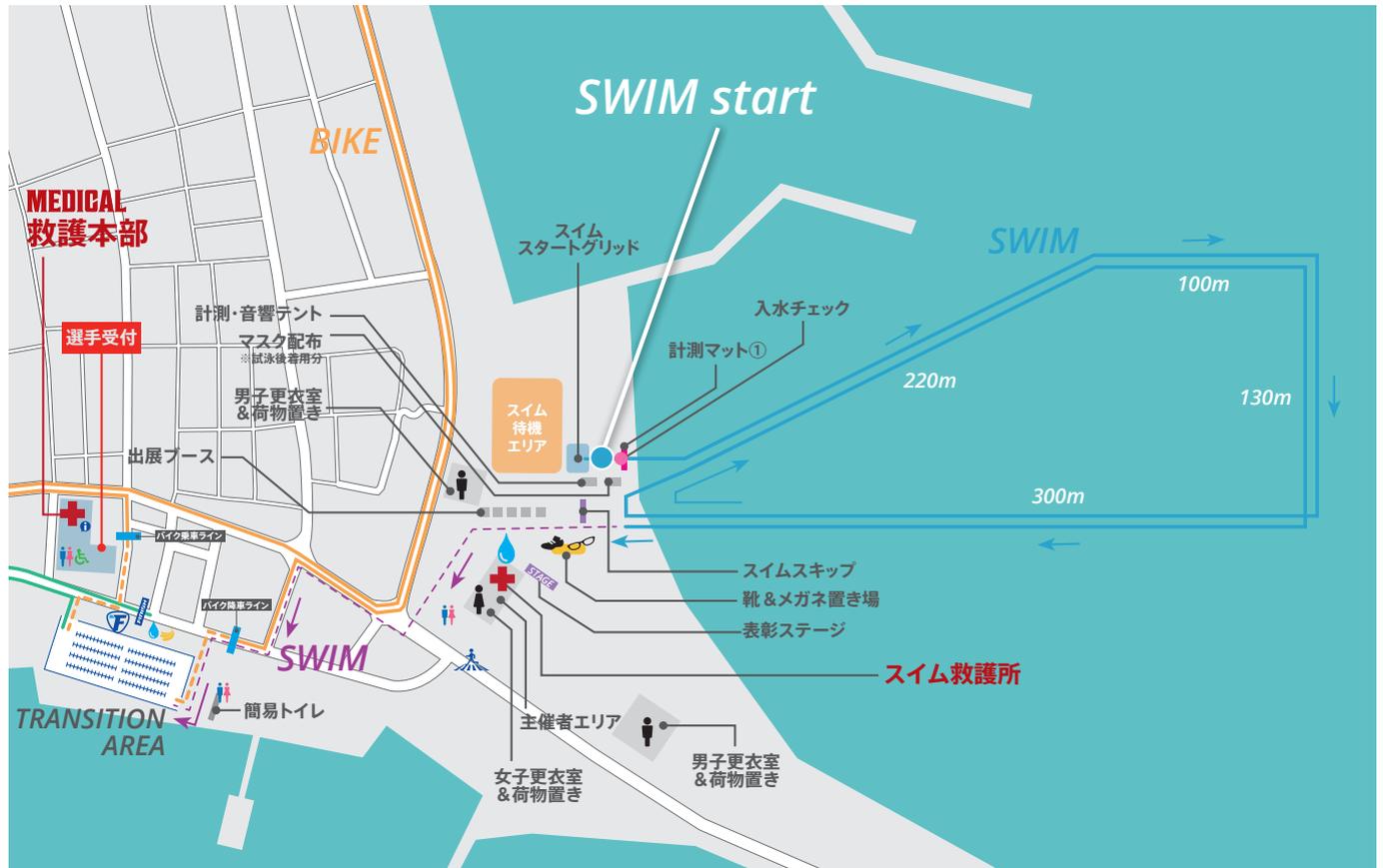
※6/26(日)はコース及び会場周辺で**交通規制**が実施されます(7:30~11:00)。

時間に余裕を持ってお越しください。(車でお越しの方は、希望者に事前郵送される「**駐車証**」を忘れないようにしてください。)

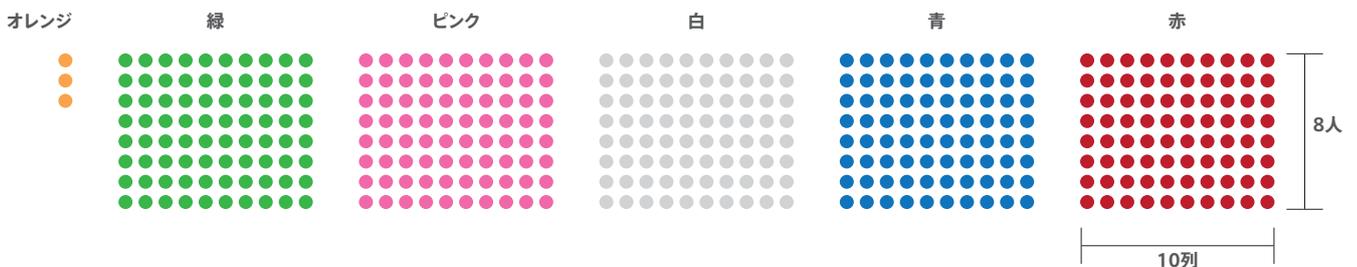
## 競技コース全域 MAP



## SWIM コース：1.5km 志賀島海水浴場 750m × 2周回



スタート方向

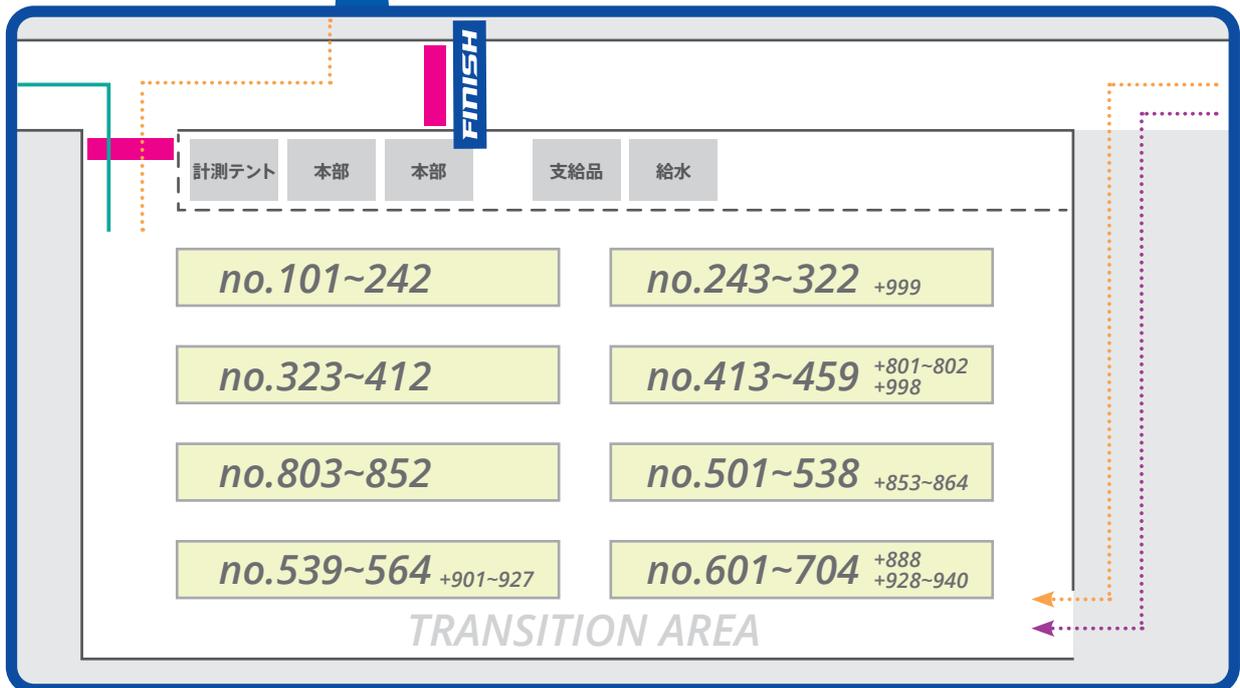


- スイムスタート時間：7時45分～
- スタート方式はローリングスタートとします。横列8名が10秒間隔でスタートします。
- スタートグリッド内（横8列×縦10列）では印の位置（一定間隔で目印を付けておきます）に立ち、スタート毎に1列ずつ詰めていきます。スタートグリッドの最後尾には、待機エリアで待つ次のグループの先頭の列から順に入っていきます。
- スイムスタートライン幅は10m、スタートラインまで15mを予定しています。
- スタートグリッド後方の待機エリアはスイムキャップカラーごとに区分けする予定です。  
※1～5グループ=各80名、6グループ=3名 計6グループ403名（6色で色分け）

## トランジションエリア



バイクラックの詳細は次のページで



TRANSITION AREA

偶数 奇数

540	539
542	541
544	543
546	545
548	547
550	549
552	551
554	553
556	555
558	557
560	559
562	561
564	563
902	901
904	903
906	905
908	907
910	909
912	911
914	913
916	915
918	917
920	919
922	921
924	923
926	925
927	927

偶数 奇数

804	803
806	805
808	807
810	809
812	811
814	813
816	815
818	817
820	819
822	821
824	823
826	825
828	827
830	829
832	831
834	833
836	835
838	837
840	839
842	841
844	843
846	845
848	847
850	849
852	851

偶数 奇数

324	323
326	325
328	327
330	329
332	331
334	333
336	335
338	337
340	339
342	341
344	343
346	345
348	347
350	349
352	351
354	353
356	355
358	357
360	359
402	401
404	403
406	405
408	407
410	409
412	411

偶数 奇数

102	101
104	103
106	105
108	107
202	201
204	203
206	205
208	207
210	209
212	211
214	213
216	215
218	217
220	219
222	221
224	223
226	225
228	227
230	229
232	231
234	233
236	235
238	237
240	239
242	241

偶数 奇数

928	929
930	931
932	933
934	935
936	937
938	939
940	601
602	603
604	605
606	607
608	609
610	611
612	613
614	615
616	617
618	619
620	621
622	623
624	625
626	627
628	629
630	631
632	701
702	703
704	888

偶数 奇数

854	853
856	855
858	857
860	859
862	861
864	863
502	501
504	503
506	505
508	507
510	509
512	511
514	513
516	515
518	517
520	519
522	521
524	523
526	525
528	527
530	529
532	531
534	533
536	535
538	537

偶数 奇数

414	413
416	415
418	417
420	419
422	421
424	423
426	425
428	427
430	431
432	433
434	435
436	437
438	439
440	441
442	443
444	445
446	447
448	449
450	451
452	453
454	455
456	457
458	459
998	801
802	

偶数 奇数

244	243
246	245
248	247
250	249
252	251
254	253
256	255
258	257
260	259
262	261
264	263
266	265
268	267
999	269
302	301
304	303
306	305
308	307
310	309
312	311
314	313
316	315
318	317
320	319
322	321

計測

本部

本部

**FINISH**

支給品

給水

BIKE コース : 40km 志賀島外周道路 (※①を起点に時計回りに4周回)



## RUN コース：10km 志賀島漁港特設コース 2km × 5 周回



### 【スイム中止時のバイクスタート方法】

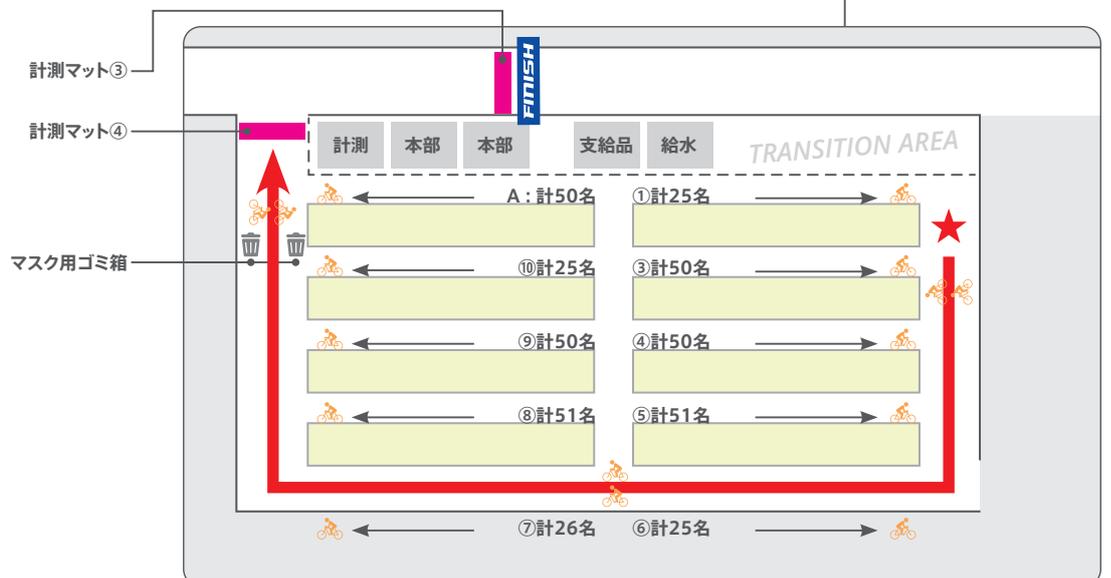
#### 【スタート前】

ラック A 全員 + 通路①の選手が★地点まで赤矢印に沿って横 2 名ずつで並んでいく。

#### 【スタート後】

・スタート開始から列が前進するので、通路③の選手から黒矢印の方向で最後尾に加わっていく。

③の次は④、以降⑤⑥⑦⑧⑨⑩の順に最後尾に加わるようにする。



## ① 出場許可証



- レースナンバーが明示されています。
- 受付時に必要となるため必ず持参してください。

## ② レースナンバーカード × 2 枚

- レースナンバーはバイクでは後方に、ランでは前面に来るようにしてください。※レースナンバーベルト着用推奨
- レースナンバーの裏面に、**レース当日の緊急時連絡先**を必ず記入してください。（本人以外の連絡先）



## ③ レースナンバーシール × 3 種類（ヘルメット、バイク、トランジションバッグ）

- レースナンバーが記載されたシールです。  
トランジションエリアへ入る前までに必ず貼り付けてください。

### 【貼り付け箇所】

- ヘルメットの正面
- バイクの左側からレースナンバーが確認できるようバイクフレームもしくは、シートピラーに貼りつけます。  
※正しい位置に貼り付けられているか、トランジションエリアの入口で審判がチェックを行います。
- トランジションレースナンバーシール  
トランジションバッグに荷物を入れ、袋にレースナンバーシールを貼り、荷物を預けてください。  
(スイム会場にある「海の家」が更衣室兼荷物の預かり場所となります)



## ④ ボディナンバーシール × 2 枚

- 本大会では、「ボディナンバーシール」を用います。（できるだけ、自宅・宿舎を出る前に貼っておきましょう。）

## ⑤ スイムキャップ × 1枚

- スタートグリッド後方の待機エリアでは、スイムキャップカラーごとに区分けする予定です。  
※ 1～5グループ=各80名、6グループ=3名 計6グループ403名（6色で色分け）



## ⑦ トランジションバッグ × 1枚

## ⑧ 駐車証

- 当日、対象となる駐車場入口で確認しますので、必ず持参してください。
- 駐車券のお渡しは、駐車場利用有無の確認時に「あり」と申告された方のみとなります。当日、急遽駐車場をご利用される場合は、付近の駐車場係員にご相談ください。



## ■ 当日お渡しするもの

### ① アンクルバンド

- 当日受付時にお渡しします。計測に使用しますので、その場で装着するようにしてください。トランジションエリア入場の際、装着確認を行います。※アンクルバンド紛失の際は実費請求します（¥3,300）。

### ② 参加記念Tシャツ

- 当日受付時に申込時に指定されたサイズをお渡しします。



### ② 参加記念Tシャツ

- フィニッシュした後にお渡しします。  
（新型コロナウイルス感染対策のため、ご自身で取っていただきます）



## ②③④の再発行について

②レースナンバー ③レースナンバーシール ④ボディナンバーシールを紛失された方は以下のとおり再発行いたします。(全て手書きでの発行となります。)

▶ **再発行日** 6月26日(日) 受付会場(志賀公民館)

▶ **再発行に必要な物**

●出場許可証 ●レースナンバー

上記がない場合 → ○免許証 ○保険証など ○身分が証明できるもの。

※本人確認を行います。必ず持参してください。 ※ボディナンバーシールは再発行いたしません。マジックでナンバーを両腕に記載します。 ※レースナンバー、レースナンバーシールの再発行は有料です。(¥500)

## 大会速報・完走証・公式HP / QRコード

### 大会速報

選手のポイント通過  
や FINISH の時間を  
リアルタイムで掲載!



### 完走証

自分のレースナンバー  
を入力してweb記録証を  
GETしよう!  
(大会3日後の6/29からDL可能)



### 公式HP

大会の様子や  
地元情報など、  
最新情報を随時更新!



## 健康管理

- 大会参加に際しては、充分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調には万全の配慮をしたうえで参加してください。
- 前日の飲酒は控え、睡眠を充分にとってください。体調が悪いと感じたら、無理をせず参加を辞退してください。体調や心身の自己管理はレースを行う上でとても大切です。
- 主催者は、疾病・傷病・その他の事故に際し、応急処置のみを行いますが、それ以上の責任は負いません。
- 安全管理上、審判員または医師・看護師・救護スタッフ・大会関係者がレース続行不可能と判断した場合は、競技者に対して競技を中止させることがあります。
- 選手の皆さまには、グーグルフォームを使った「体調管理チェックシート」を配信します。大会当日から遡って2週間前からの体調チェックと1週間前からの体温確認などが含まれます。必ず大会前日に回答するようにしてください。【6月25日（土）16：00まで】  
※回答がない方は、大会出場をお断りする場合がありますのでご注意ください。

## コース・ルール等競技内容のチェック

- あらかじめ、コース図を確認し、自分自身が走行するルートやトランジションの位置、周回数等を把握しておきましょう。
- レースに出場するための注意事項を事前に把握しておきましょう。

## 会場までのアクセスルート、時間の確認

- 大会当日、会場周辺は大変混雑が予想されます。交通規制もあります。  
(志賀島外周/7:30～11:00 車両通行止め)
- お時間に十分余裕を持って会場にお越しください。受付時間に間に合わない場合は、出走できません。
- スタート前に選手受付、バイクチェックイン等を必ず行っていただきます。当日の流れを事前に把握してください。

	チェックリスト	チェック
スイム	キャップ	
	ゴーグル	
	ウエットスーツ	
	耳栓 (任意)	
	はきもの (推奨)	
バイク	ヘルメット	
	レースナンバーベルト	
	バイクシューズ	
	サングラス (任意)	
	くつ下 (任意)	
	足ふきタオル (任意)	
	サイクルボトル (最低2本)	
	その他補給食	
	サイクルコンピューター	
	時計 (任意)	
ラン	ランニングシューズ	
	レースナンバーベルト	
	帽子 (任意)	

	チェックリスト	チェック
事前準備	健康保険証コピー	
	健康チェックシート (google フォーム)	
	ナンバーシール/メット 正面	
	ナンバーシール/バイク 左	
	ボディナンバーシール (当日、トランジションに入る前までに貼っておく)	
あったら便利	パンク修理・工具	
	雨具カッパ	
	レスチューブ	
	帽子	
	サングラス	
	補給食	
	時計	
MEMO		

## ◆競技規則

- 01：本大会は、「公益社団法人日本トライアスロン連合（JTU）競技規則」、一部「国際トライアスロン連合（ワールドトライアスロン）競技規則」及び以下に定める「福岡トライアスロン競技規則」に従い競技を行う。
- 02：本大会競技規則に定めない事項、事象が生じた場合は、主催者または技術代表・審判長がその取扱いを決定する。
- 03：安全第一とし、気象条件、その他の条件等より、競技性及び安全が十分確保できないと主催者が判断した場合には、競技開始以前または競技中であっても、競技内容の変更または競技の中止を行うことができる。
- 04：選手及び随行者は、社会人・スポーツマンとして節度ある態度で本大会に参加する。違法駐車、一般車両・通行人への通行妨害、ゴミの投棄及び違法キャンプの禁止、バイク乗車時のヘルメット着用、夜間の騒音等に十分注意し、開催地の地域住民やボランティアとの調和を図る。
- 05：大会で定められた時間を遵守し、遅れる場合は事前に連絡する。連絡なき場合は失格となることもある。
- 06：選手は、大会規則及び道路交通法の定める交通規則とコースを十分に理解して参加する。コース離脱や交通違反に対する責任は選手個人が負う。
- 07：選手は予め配信される「体調管理チェックシート」に回答しなければならない。
- 08：酒気帯びや体調不良の状態での競技をすることはできない。酒気帯びの恐れのある選手に対しては呼気検査を求めることがあり、検査の結果、アルコール分が検出されれば競技に参加できない。
- 09：選手は、規則で定められたウェア、競技用具を使用しなければならない。
- 10：前ファスナー付のレースウェアは原則使用できない。もし使用する場合は、必ずファスナーを閉じて競技するものとし、下ろした状態や片掛けで競技を継続すると、注意・警告・失格等ペナルティを課す場合がある。また、競技中に限らず、屋外での更衣や、上半身裸のまま移動することを禁止する。
- 11：シューズを履かずに裸足のままバイクやラン競技を行うことは禁止とする。バイクシューズは専用のものでなくても構わない。
- 12：仮装は認めない。
- 13：レースナンバーは、バイクでは背面、ランでは前面に取付け、めくれあがらないように取り付けること。折り曲げや変造は禁止する。またレースナンバーベルトの使用を推奨する。
- 14：レースナンバーの裏面に、レース当日の緊急連絡先を必ず記入すること。（本人以外の連絡先）
- 15：大会期間中、指定場所以外での物（ゴミ、ボトル、競技用品を問わず）の投棄を禁止する。ただし、競技中にあては、スタッフに一声かけて受け取りを依頼することを許容する。
- 16：制限時間及び関門時間を設ける（※詳細は「◆制限時間」参照）。各制限時間・関門に通過できなかった選手はDNF（Do not finish）となる。制限時間に関わらず競技続行が困難、競技運営に著しく支障があると主催者及び審判員が判断した場合、その選手に対してDNFを宣告する。DNF及び自主リタイア選手は審判員に申告し、アンクルバンドを返却する。その後の行動は審判員の指示に従うこと。
- 17：フィニッシュ地点以外でのアンクルバンドの返却は、必ずスタッフであることを確認した上で、スタッフに直接返却すること。
- 18：小型カメラ、携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーの使用は禁止する。ただし、スマートフォンは距離計測としての使用のみ認めるが、距離計測以外の使用は禁止する。使用した場合はペナルティの対象となることもある。
- 19：JTU競技規則、福岡トライアスロン競技規則及び、社会的マナーに反した選手は、審判員の裁量によりタイムペナルティを科せられる場合がある。

## ◆車検・バイクコース下見

- 01：本大会ではバイクの車検は行わない。競技用具の整備は選手各自の責任であり、著しい整備不良や規格違反と判断された場合、競技に参加できない場合がある。革新技術等の使用は、事前の了承を必要とする。
- 02：大会当日、トランジションエリア付近にバイクメカニックサービスを設置する。ただし、あくまで基本的な整備は済ませたものとし、簡易な整備のみの対応とする。※バイクメカニックサービス（¥1,000-/回）
- 03：大会当日、会場付近やバイクコースにおいて、バイクでのウォーミングアップ及び試走はできない。ラン及び徒歩によるバイクコース下見を推奨する。ラン及び徒歩による下見は歩道を使用し、交通ルールを順守して安全に注意すること。大会前日にバイクコース下見を行う際は、交通ルールを順守し、地域住民の生活や地域事業者の業務遂行の妨げにならないように節度を持って行うこと。

## ◆スイム競技

- 01：スイムでは、安全上の観点からウェットスーツの着用を義務とする。トライアスロン用又はスイム用のウェットスーツ（厚み 5mm以下）を必ず着用する。これに反した場合は競技に参加できないか失格とする場合がある。また、スイムスーツでのウェットスーツ代用は認めない。
- 02：ゴーグル（オープンウォーターのためクリアに近いレンズカラー推奨）・ノーズクリップ・耳栓・腕時計・心拍測定器の着用を認める。
- 03：スイムキャップを重ねて被ることは可能。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上に被ること。
- 04：ウェットスーツのゴム生地製ヘッドキャップの使用を認める。ただし、大会支給のスイムキャップを一番上に被ること。
- 05：大会側でワセリンは用意しないので各自用意すること。
- 06：6：45～7：25の間に入水チェックを必ず行うこと。入水チェックはスイムスタートの計測マットを1回通過することで行う。スイムエリアに到着したらまず入水チェックを済ませ、その後に試泳・待機に移ること。入水チェック後はスイムエリアから離れないようにすること。
- 07：スタートエリアでは必ずアンクルバンドを装着した状態であること。
- 08：水温に慣れるためにも、定められた時間帯で試泳することを推奨する。
- ・試泳をする場合
    - 泳ぐ直前に着用していたマスクを所定のゴミ箱へ捨て、陸に上がってきたらマスク（支給）を着用し、スタートグリッド後方の待機エリアで待機すること。
  - ・試泳をしない場合
    - スタートグリッド後方の待機エリアで待機すること。
- 09：スタート方式はローリングスタート（横列 8 名が 10 秒間隔）とする。
- 10：スタートグリッド内（横 8 列×縦 10 列）では印の位置（一定間隔で目印あり）に立ち、スタート毎に前方に 1 列ずつ詰める。スタートグリッドの最後列には、待機エリアで待つ次グループの先頭列から順に入ること。
- 11：着用していたマスクは、スタートグリッド入口に設置しているゴミ箱に捨てること。また、それ以降の会話は極力控えること。
- 12：スイムスタートライン幅は 10 m、スタートラインまで 15m とする。
- 13：スタートグリッド後方の待機エリアはスイムキャップカラーごとに区分けする  
※ 1～5 グループ= 80 名、6 グループ=3 名 計 6 グループ 403 名（6 色で色分け）。  
待機エリアの他グループも横 8 名ずつに並んで待機しておくこと。
- 14：各自のスタート計測は、計測マットを通過した時点からとなるため、焦らずに列を作って待機すること。
- 15：スイムからトランジションエリアに向かう動線上は一部砂利道が含まれるため、履物を履いて移動することを推奨する。  
※スイム上陸部にはきものを置くエリアを設けるので自己責任の下利用すること。
- 16：危険回避等でコースロープ、ブイ及び監視船等につかまって休息できるが、移動することはできない。
- 17：救助を必要とする場合は、競技を停止し、片手を頭の上で大きく振り、声を出して救助を求める。
- 18：審判員以外のライフセーバー等が選手の安全のため競技を中止させることがある。
- 19：経験不足や泳力に自信がないことからスイム競技に不安を覚える場合は「スイムスキップ」を認める。ただし、スイムスタート前に申告する場合に限るものとする。スイムスキップをする選手は、7 時 30 分までにスイム会場に配置された審判員にレースナンバーとスイムスキップの意思を伝えること。その後は、スタート前の待機エリア付近に設けた「スイムスキップリスタート位置」で待機する。8 時 30 分に一斉にリスタートしてトランジションエリアに向かう。
- 20：スイムスキップの場合、記録については「スイムスキップ」の表示で残るが、完走とはならない。また、エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズのポイントは付与されない。※バイク競技以降の制限時間は「◆制限時間」と同じとする）
- 21：スイムリタイア者については、近くの審判員にレースナンバーとリタイアの意思を伝えた上で、アンクルバンドを返却すること。体調不良等によるリタイアの場合は、スイム救護所に向かいメディカルチームからの診察を受けること。

## ◆スイム競技中止時の対応

- 01：海上の状況により、スイムが中止になった場合は、バイク競技から行うこととする。
- 02：スタート時間は 8：15～とする。スタート位置はトランジションエリア出口の計測マット（以下、「スタートの計測マット」と呼ぶ）とし、2 名ずつ 5 秒間隔のローリングスタート方式とする。
- 03：スタート前に、会場案内に従ってトランジションエリアの外周通路に横 2 名の列を作って並ぶ。スタート以降は、列の前進に合わせて待機する選手が列の最後尾に加わっていくようにする。※詳細の運用方法は PO10 の「スイム競技時の対応」を参照。
- 04：各選手の計測開始は、スタートの計測マットを通過してからとなるため、並び順番の前後が記録・順位に影響を及ぼすことはないので慌てずに整列すること。
- 05：スタートまでの待機時はマスク着用とする。スタートの手前にマスク用のゴミ箱を設置するので、その位置まで進んだらマスクを外して処分する。マスクを外した後の会話は控えること。
- 06：バイク乗車ラインは、スタートの計測マットの約 40m 先にあるため、スタート後すぐに乗車せず、乗車ラインまでバイクを押して進むこと。

## ◆スイム時における「レスチューブ」の装着に関するローカルルール

本大会では、スイム競技時に膨張式緊急浮力体（以下「レスチューブ」という）の装着について、下記ルールを適用する。

- 01：ウェットスーツのほか安全を自分で守るための用具となる。泳力に自信がないままでスタートすることがないように十分に練習に励んで大会に参加すること。
- 02：心身の安全に不安を感じたら競技の継続にこだわることなく躊躇せずに使用すること。なお、器具の使用に係る固有の事故等について、主催者は責任を負わない。
- 03：スイム入水時までに装着を完了しておくこと。
- 04：装着しても使用しなかった場合は、装着しない場合と区別せずに計測・順位の記録を行う。
- 05：使用した（膨張させた）場合には、以降のレースを継続することはできない。可能であれば自力もしくは救助チームのサポートを受けて上陸すること。上陸後は審判員の指示に従うこと。



レスチューブの例



詳しくは web にて確認してください。 [www.restube-jpn.com](http://www.restube-jpn.com)

## ◆トランジション

- 01：選手・スタッフ以外はトランジションエリアへ立ち入りできない。
- 02：トランジションエリア入場の際、アンクルバンドの装着確認を行う。受付時に配布するので、できるだけその場で装着し、紛失や装着忘れに十分注意すること。  
※アンクルバンド紛失の際は実費請求（¥3,300）となる。
- 03：トランジションエリア入場の際、ヘルメットのストラップを緩みのないよう調整しておくこと。ストラップの状況を含めヘルメットチェックを実施する。
- 04：バイクラックにレースナンバーが記してあるので、決められた自身のエリアのみ使用すること。
- 05：バイクはバイクラックのレースナンバーが見える方に頭を向けて設置すること。向きが違う場合はペナルティ対象となる。
- 06：トランジションエリアへは、競技と直接関係ない物（クーラーボックス等）の持ち込みはできない。審判員が発見した場合はこれを撤去することができる。ペナルティの対象となることもある。
- 07：7時25分からバイク競技終了まではトランジションエリアを閉鎖する。バイクと競技用具の引き取り時間はおおよそ 12 時 00 分頃とする。盗難防止のため、ボディナンバー及バイクレースナンバーシールを照合して引き渡しを行う。
- 08：トランジションエリア内でバイクに乗車した場合、ペナルティの対象になることもある。
- 09：トランジションエリア内は細かい砂利敷となる。  
※スイム上陸部にはきものを置くエリアを設けるので自己責任の下利用すること。

## ◆バイク競技

- 01: バイクはフリーホイール式で前後ブレーキを装着したロードレーサー（ブルホーンハンドル仕様の TT バイク含む）を基本とする。特に安全性が認められないバイクは、大会組織委員会が判断して参加を認めない場合がある。
- 02: エアロバー（DH バー・クリップオンバー）の装着、後輪のディスクホイールの使用は可能とする。
- 03: サイクルコンピューター（走行距離計測器）装着を推奨する。
- 04: バイクのスタンド・泥除け・ミラー・ライト等は予め外しておくこと。
- 05: ヘルメットは安全基準を満たした硬質のものを正しく着用する。エアロタイプのヘルメットも使用可能。改造、ひび割れ、古いタイプのヘルメットの使用は認めない。
- 06: レースナンバーをヘルメット前面、バイク左側にレースナンバーが確認できるように、バイクフレームもしくはシートピラー等に貼りつけること。
- 07: バイクコースは完全交通規制だが、選手は常に危険回避義務があり、前方及び路面状況にも十分注意する。緊急車両走行時は減速し、左側を徐行。または指示に従い停止すること。いかなる場合でも緊急車両の追い越しは禁止とする。
- 08: 走行中は常に自己の安全速度を守る。特にキープレフトを順守し、お互いのドラフトゾーン確保及びブロッキング禁止を順守する。追い越しは後方を確認し、声をかけて右側を追い越すこととし、視界の悪いコーナーでの追い越しは禁止する。また、追い越される選手は走行ラインを変更しない。
- 09: バイクコースの特性を加味し、追い越し時の接触や事故の責務は、常に追い越す選手に科す。
- 10: バイクコース上にはエイドステーションを設けないため、バイクボトルは最低 2 本携行し水分補給を行うこと。ペットボトルの携行は禁止とする。
- 11: ドラフティングは禁止とするが、選手が密集した場合等ドラフトゾーン確保が困難な場合、ドラフトゾーンへの故意でない進入については考慮する。ドラフトゾーンは、バイクの前輪の最前部を起点として後方 10m の範囲とする。
- 12: 不可抗力以外の反対車線へのはみ出しを禁止とする。
- 13: バイクコースは志賀島を 4 周回とする。アンクルバンドによる機械計測を行うが、リアルタイムで選手に伝達することはできないため、周回管理は、走行距離計測器により各自で管理すること。周回数を間違えた場合は、バイクコースの逆走は禁止とし、順方向に走行してバイクフィニッシュに向かうこと。なお、周回数が少ない場合は DNF となる。
- 14: バイクコースで落下物回収のために停車・逆走することを禁止する。落下物は審判員または大会スタッフが回収し、競技終了後に大会本部にて受け取る。なお、落下物の破損・紛失について主催者は一切責任を負わない。
- 15: バイクの乗車は、片足がバイク乗車ラインを越えたあとに、完全に片足が地面に着いてから乗車すること。（ペナルティ対象）
- 16: バイクの降車は、バイク 降車ライン手前の地面に、片足が完全に着いてから降車すること。（ペナルティ対象）
- 17: コースの特性上、一部区間で選手の並走・合流が生じることから、危険区間として「減速」「追い越し禁止」等を義務付ける（※詳細は『危険箇所』参照）。安全確保のためには規制の遵守が必須となるため、対象区間での規制不履行については「ドラフティング違反同等」のペナルティを課す。
- 18: トランジションエリアからバイク乗車ラインまでの間の動線上は一部砂利道となるため、バイクシューズ等を履いて移動することを推奨する。

## ◆ラン競技

- 01: ランコースは完全交通規制されていない。交通規則を遵守し、公衆（観客・通行人）に十分注意する。
- 02: 走行はキープレフトを順守し、コース幅の狭いところは前方及び対向の選手に十分注意して互いに安全な走行を心がけること。
- 03: ランは、志賀島漁港内を 5 周回とする。計測チップによる機械計測を行うが、リアルタイムで選手に伝達することはできないため、周回管理のサポートとして、「輪ゴム受渡しエリア」を設置する。通過するたびに輪ゴムを 1 本受け取り手首に付けること。5 本付けている状態でフィニッシュとなる。
- 04: エイドステーションは 1 周に 2 箇所あり、ラン競技中合計 10 回通過するので適宜水分補給をすること。第三者によるエイドステーション以外における飲み物等の提供は認めない（ただし、緊急時は除く）。
- 05: 同伴フィニッシュ希望者は、同伴フィニッシュ待機場所より、スタッフの指示に従って他の選手に影響がないように配慮して行うこと。
- 06: ランコース上には、ペナルティボックスを設置する。対象となる選手のレースナンバーが掲示されるので、最終周回までにはペナルティボックスに入り、審判員の指示のもとタイムペナルティを受けること。

## ◆フィニッシュ

- 01：フィニッシュ後、アンクルバンドを自身で取外し、返却箱に入れること。
- 02：周回管理用の輪ゴムは各自で処分すること。
- 03：マスク・フィニッシャータオル・給水を自身で受け取ること。
- 04：フィニッシュエリア付近の混雑を避けるため、支給物受け取り後はスイム会場の海水浴場に向かうこと。感染防止対策として、必ず支給したマスクを着用すること。

## ◆制限時間

当大会では、交通規制による地域住民の負担軽減から以下の通り制限時間を設定する。

### ●スイム

**制限時間 8：44 ※最終組のスタート時間（7：54）から 50 分後**

- ・制限時間までにスイムフィニッシュ計測を通過できなければ DNF となり、次のバイク競技へ進むことはできない。
- ・制限時間前にスイムフィニッシュ計測を通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 50 分を超過していた場合は DNF となる。

### ●バイク

**制限時間① 8：59（スイム制限時間 + 15分）**

- ・制限時間までにバイクスタート計測を通過しなければ DNF となり、次のバイク競技・ラン競技へ進むことはできない。

**制限時間② 10：25（志賀島入口計測）**

- ・制限時間までに通過できなかった場合  
⇒その場で DNF となる。バイクを降りて大会本部まで戻ること。
- ・制限時間までに通過できた場合  
⇒ 10：25 から志賀公民館付近より進行方向に向かって島を一周する「資機材回収指示車両」を運行する。該当車両に追い越された時点で DNF となる。DNF となった場合は、一般交通ルールに従って大会本部まで戻ること。

### ●ラン

**制限時間 12：24 ※最終組のスタート時間（7：54）から 4 時間 30 分後**

- ・制限時間までにフィニッシュゲートを通過できなければ DNF となる。競技記録は計測されるが、順位はつかない。
- ・制限時間までにフィニッシュゲートを通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 4 時間 30 分を超過していた場合は DNF となる。

※上記の制限時間に通過できずに DNF となった場合、および記録集計後に DNF となった場合は「完走」とならないため、エイジグループ・ナショナルチャンピオンシップシリーズのポイントは付与されない。

## ◆罰則（ペナルティ）

- 01：全競技を通じて、審判員からペナルティを適用すると指摘された選手は、ランコース上に設置されたペナルティボックスで、フィニッシュの前までにタイムペナルティを受けること。タイムペナルティを受けない場合は失格となる。

## ◆抗議

- 01：選手は審判長の裁定や競技環境、他の競技者やスタッフの言動、または自らの違反について、審議委員会に抗議を申し立てることができる。ただし、ドラフティング・ブロックング・暴言等スポーツマン精神に反する言動についての抗議は受け入れられない。
- 02：競技者又は審判長は、審議委員会の裁定に対してなお不服な時は、FTU 理事会に上訴を申し立てることができる。また、更なる不服申し立ては「スポーツ仲裁規則」に従い解決する。
- 03：審議委員会は、大会技術代表、主催者、FTU 代表の 3 名で構成され、抗議については速やかに対処する。

## ◆棄権

- 01：競技途中に棄権する場合は、必ず審判員またはスタッフに棄権の意思を通告すること。棄権の通告がなかった場合、競技終了後も捜索が続くこととなる。スムーズな大会運営のために、必ず棄権通告を実施すること。
- 02：競技を棄権する際は、レースナンバー・アンクルバンドを外し、審判員又はスタッフに返却すること。

## ◆参加費返金

- 01：エントリー後の返金は原則として行わない。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大等の理由により大会が中止となった場合は、それまでに要した準備費用など勘案の上、別途通知することとする。

## ◆肖像権

- 01：大会に関する肖像権は主催者に帰属する。
- 02：入手した個人情報は、個人情報の保護に適用される法令を遵守し、大会に関する情報の通知手段として使用する以外は、本人の承諾がない限りは使用しない。

## 6月26日(日) 大会当日のスケジュール

時間	内容	必要事項	注意事項
5:00～6:30	大会会場入り	A・B・C：選手向け駐車場エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場利用希望者には事前郵送物の中に駐車券を同封します。当日は必ず持参し、指定の駐車場に向かってください。</li> <li>・駐車場では誘導員の指示に従い、できるだけ詰めて駐車するようお願いいたします。</li> </ul>
5:30～7:00	受付	志賀公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前郵送物に同梱されている「出場許可証」を必ず持参してください。</li> <li>・体調管理チェックシートは必ず前日16:00までに送信を終えてください。</li> <li>・受付窓口①：手指消毒・検温を行います。</li> <li>・受付窓口②：アンクルバンド・参記念Tシャツを受け取ります。</li> <li>・アンクルバンドは紛失防止のため、その場で装着してください。</li> <li>・感染防止の観点より、大会会場は原則マスク着用とします。競技直前で捨てても構わないマスクを着用してお越しください。</li> </ul>
5:30～	更衣室・荷物置場利用	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイム会場となる砂浜にある海の家を、更衣室・荷物置場として開放します。 ※男性：「きばらし」「福助」 女性：「丸良」</li> <li>・荷物には、事前郵送物に同梱されている「トランジションバッグ」に入れ、「トランジションバッグ用レースナンバーシール」を貼ってください。</li> <li>・荷物受け取り時は、レースナンバーの確認を行います。</li> </ul>
5:30～7:25	トランジションエリア準備 ※ピックアップ予定 12:00～	トランジションエリア (志賀島漁港駐車場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入口にてアンクルバンドの装着確認、ヘルメットの確認を行います。</li> <li>・自転車の向きを間違えないようにしましょう。</li> <li>・スイム上陸～トランジションエリア、トランジションエリア内は砂利敷部分があります。スイム上陸部に「はきもの置場」を設けますので自己管理の上で利用してください。</li> </ul>
6:45～7:25	スイム入水チェック	スイムエリア (志賀島海水浴場) ※スイムスタート計測地点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイムエリアに入ったらまず入水チェックを済ませてください。</li> <li>・入水チェックはスイムスタート計測マットと同じです。必ず一度通過してから試泳や待機に移るようにしてください。</li> <li>・一度通過したあとはスタートまで通過しないようにしてください。また、スイムエリアから離れることがないようにしてください。</li> </ul>
7:00～7:25	試泳	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水温に慣れるためにも試泳をおすすめします。</li> <li>・試泳する場合は、泳ぐ直前にマスクを外して処分し、上陸後はマスク着用(支給)をお願いします。</li> <li>・7:25までには試泳は終了し、スタート位置付近に集まってください。</li> </ul>
7:30～	開会式	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な開会式を行います。</li> <li>・キャップの色ごと(スタートグループごとに色分け)におおまかに待機エリアを設定しています。できるだけ周囲の選手との間隔を開けて待機してください。</li> <li>・開会式終了後、最初のスタートグループは横8列になってスタートグリッドに入ってください。</li> </ul>
7:30～	交通規制開始	志賀島外周道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここから交通規制解除までの間、地域住民の方々の移動が制限されます。走れることに感謝して思い切り走りましょう。</li> </ul>

時間	内容	必要事項	注意事項
7:45 ~ 7:54	レーススタート	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローリングスタート方式とします。(横 8 列、10 秒間隔)</li> <li>・各自の記録計測開始は、計測マットを通過した時点からとなります。スタートの順番は記録に影響しないので焦らずに整列してください。</li> </ul>
8:30	スイムスキップリスタート	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スイムスタート前」に申告する場合に限りスイムスキップを認めます。</li> <li>・スイムスキップをする場合は、7:30 までにスイム会場に配置された審判員にレースナンバーとスイムスキップの意思を伝えてください。</li> <li>・スイムスキップをした選手は「スイムスキップリスタート位置」から 8 時 30 分に一齐にリスタートします。</li> </ul>
8:44	スイム制限時間	スイムエリア スイムフィニッシュ計測地点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限時間までに通過できなければ DNF となり、次のバイク競技へ進むことはできません。</li> <li>・制限時間前に通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 50 分を超過していた場合は DNF となります。</li> </ul>
8:59	バイクスタート制限時間	トランジションエリア バイクスタート計測地点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限時間までに通過しなければ DNF となり、次のバイク競技・ラン競技へ進むことはできません。</li> </ul>
10:25	バイク制限時間	志賀島入口計測地点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限時間までに通過できなかった場合は、その場で DNF となります。バイクを降りて大会本部まで戻ってください。</li> <li>・制限時間までに通過できた場合でも、10:25 から志賀公民館付近より進行方向に向かって島を一周する「資機材回収指示車両」に追い越された時点で DNF となります。DNF となった場合は、一般交通ルールに従って大会本部まで戻ってください。</li> </ul>
~ 11:00	交通規制解除	志賀島外周道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の方々の負担をできるだけ軽くするためにも、スムーズな競技進行にご協力ください。</li> </ul>
12:24	ラン制限時間	フィニッシュゲート (志賀島漁港)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制限時間までに通過できなければ DNF となります。</li> <li>・制限時間までに通過した場合でも、記録集計後に各自のスタート時間から 4 時間 30 分を超過していた場合は DNF となります。</li> </ul>
	フィニッシュ後	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンクルバンドは自身で取外して返却箱に入れてください。</li> <li>・周回管理用の輪ゴムは各自で処分してください。</li> <li>・マスク・フィニッシャータオル・給水を自身で受け取ってください。</li> <li>・フィニッシュエリア付近の混雑を避けるため、支給物受け取り後はスイム会場の海水浴場に向かってください。その際は、必ずフィニッシュ後に支給したマスクを着用してください。</li> <li>・スイム会場にある各海の家ではシャワーがご利用いただけます。ただし有料 (¥500) となります。海の家近くでシャワーチケットを販売いたしますのでご利用の際はご購入ください。</li> </ul>
12:30	表彰・閉会式	スイムエリア (志賀島海水浴場)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク着用の上、大きな声での会話は控えてください。</li> </ul>

## 選手受付⇒トランジションエリア⇒スイム会場



## 海水浴場部詳細





駐車場のご利用は事前申し込みの方のみご利用できます。

お車は **6:30** までに**駐車**してください。

※ 7:30 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30 ~ 7:00 のため、6:30 までにはお越しください。

## 駐車証

選手専用駐車場

駐車場から順に誘導します。駐車場付近及び駐車場内スタッフの案内に従って速やかに駐車してください。

**駐車場入場時間 5:00~6:30**

※7:30より交通規制が行われます。選手受付時間が5:30~7:00のため、6:30までにはお越しください。  
 ※交通規制直前は混雑しますので、早めに会場へお越しください。  
 ※事故防止のために駐車場及び会場内での自転車の走行(レース以外)はご遠慮ください。発見した場合は出場資格を取り消します。  
 ※駐車場で発生した事故トラブルについて主催者側は一切保証を行いません。※本証はダッシュボードなど、車の外から見えるところへ置いてください。  
 ※本証をお忘れになると駐車できませんのでご注意ください。  
 ※交通規制の解除(11:00頃)までは駐車したお車の移動はできません。

### 【選手駐車場 & 受付 周辺拡大地図】



駐車場 C から順に誘導します。駐車場付近及び駐車場内スタッフの案内に従って速やかに駐車してください。

※ 7:30 より交通規制が行われます。選手受付時間が 5:30 ~ 7:00 のため、6:30 までにはお越しください。

※ 交通規制直前は混雑しますので、早めに会場へお越しください。

※ 事故防止のために駐車場及び会場内での自転車の走行(レース以外)はご遠慮ください。発見した場合は出場資格を取り消します。

※ 駐車場で発生した事故トラブルについて主催者側は一切保証を行いません。※本証はダッシュボードなど、車の外から見えるところへ置いてください。

※ 本証をお忘れになると駐車できませんのでご注意ください。

※ 交通規制の解除(11:00頃)までは駐車したお車の移動はできません。

# スタートリスト①

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
107	中村 寧花	18	福岡
108	前田 理紗	19	福岡
261	久保本 楓花	20	福岡
262	福原 加珠美	21	福岡
263	井上 菜津子	21	福岡
264	鏡 鈴	21	広島
265	濱畑 月菜	22	福岡
266	長岡 珠希	26	福岡
999	山内 実優	26	佐賀
267	井手口 由佳	27	福岡
268	二宮 麻衣子	29	福岡
269	松田 菜央	29	鹿児島
354	岩下 香奈	31	福岡
355	越海 ニコール	34	大分
356	内藤 恵梨	35	長崎
357	能勢 真梨奈	36	福岡
358	河田 真奈	36	福岡
359	大久保 舞	37	福岡
360	大櫃 菜津子	38	福岡
451	西 亜紀子	41	東京
452	八木 恭子	42	佐賀
453	古賀 理恵	42	佐賀
454	白川 陽子	43	福岡
455	城田 全江	43	福岡
456	下田 しおり	43	福岡
457	小川 暁子	43	広島
458	長谷部 真美	44	東京
459	加未 千鶴	44	福岡
859	小畑 幸子	45	福岡
860	中村 奈緒子	46	福岡
861	有木 真理	47	沖縄
862	大場 のり子	48	佐賀
863	彦田 純子	49	福岡
864	久野 奈穂子	49	愛知
564	大野 享子	50	沖縄
937	藤田 礼	55	福岡
938	松藤 章子	58	福岡
939	恵良 奈緒美	58	山口
940	寺島 香	59	福岡
631	松下 豊美	60	福岡
632	西岡 美也子	62	福岡

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
101	松本 聡太	18	福岡
102	廣本 慎吾	19	広島
103	井上 滉基	19	福岡
104	齊藤 光志	19	福岡
105	佐藤 瑛雄	19	千葉
106	石河 誉章	19	福岡
201	草野 和人	20	広島
202	真下 友寿	20	福岡
203	相良 透羽	20	佐賀
204	藤本 涼	20	福岡
205	馬場 啓匠	20	福岡
206	野田 脩人	21	福岡
207	立花 匠	21	福岡
208	春兼 宗生	21	広島
209	吉村 峻	21	広島
210	石崎 陽来	21	福岡
211	渡守 爽太郎	21	福岡
212	清水 匠バスカル	21	福岡
213	五百蔵 春良	21	福岡
214	小林 正陽	21	福岡
215	山本 修平	22	福岡
216	松田 健伸	22	福岡
217	緒方 幹久	22	福岡
218	安田 大河	22	福岡
219	末吉 秀旭	22	福岡
220	岩尾 健吾	22	福岡
221	佐竹 陸	23	福岡
222	吉原 佑哉	23	福岡
223	北川 暁司	23	福岡
224	藤原 周平	23	長崎
225	山川 雄大	23	東京
226	森田 健志	23	福岡
227	高取 草太	23	福岡
228	東 孝太郎	23	福岡
229	黒尾丸 智拓	24	福岡
230	恵崎 拓真	24	福岡
231	松本 英悟	24	福岡
232	江口 揮房	25	佐賀
233	當麻 涼介	25	大阪
234	久保 壘	25	福岡
235	石河 稔啓	25	福岡

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
236	宇野木 涼太	25	長崎
237	前田 龍成	25	熊本
238	合庭 俊二	26	福岡
239	黒尾丸 真季	26	福岡
240	小野 瑛之	26	神奈川
241	阿部 拓希	26	東京
242	前川 大樹	26	福岡
243	深野 雄大	27	福岡
244	向井 尚輝	27	福岡
245	井上 惇之	27	福岡
246	細田 凌矢	27	熊本
247	石河 誠司	27	埼玉
248	内村 将司	28	鹿児島
249	徳永 和晃	28	福岡
250	若菜 和彦	28	福岡
251	春本 俊	28	福岡
252	白壁 大輝	28	福岡
253	多田 優輝	29	山口
254	高畑 遥	29	福岡
255	岸川 健太	29	福岡
256	阿部 幹也	29	福岡
257	早崎 悠揮	29	東京
258	加納 侑士	29	福岡
259	齊藤 雄太	29	福岡
260	中山 和哉	29	富山
301	小松 真也	30	佐賀
302	有吉 龍太郎	30	福岡
303	宮川 裕貴	31	福岡
304	好川 竜太郎	31	京都
305	池 隆礼	31	沖縄
306	千田 恵太	31	福岡
307	田中 啓一郎	32	福岡
308	内原 悠	32	福岡
309	末永 幸洋	33	福岡
310	中崎 泰伸	33	福岡
311	木田 泰寛	33	宮崎
312	西原 和宏	33	福岡
313	宮下 純一	33	東京
314	合原 水月	33	福岡
315	井上 裕馬	33	山口
316	小松 健太	33	佐賀

# スタートリスト②

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
317	田尾 憲司	34	福岡
318	北野 祐貴	34	福岡
319	古賀 卓也	34	福岡
320	海辺 義一	35	福岡
321	谷口 大樹	35	福岡
322	長田 裕史	35	千葉
323	野坂 直希	35	大阪
324	中原 誠	35	福岡
325	戸田 有紀	35	広島
326	大城 敦哉	35	東京
327	三澤 正太郎	36	福岡
328	浅田 晃輔	36	福岡
329	岩下 裕之	36	福岡
330	西岡 佑輔	36	福岡
331	仁井 啓介	36	福岡
332	岡村 祐	36	福岡
333	植山 一哉	36	福岡
334	景山 敏直	37	神奈川
335	安水 大介	37	東京
336	石松 宏章	37	東京
337	岩下 隼人	37	福岡
338	宮崎 太平	37	東京
339	楠 直人	37	神奈川
340	金子 翔	37	福岡
341	小田 貴文	38	大阪
342	田中 智久	38	福岡
343	庄寄 正裕	38	福岡
344	今井 正人	38	山口
345	吉竹 陽介	38	佐賀
346	吉田 俊介	38	福岡
347	宮本 大輔	39	福岡
348	押川 博	39	福岡
349	梅田 裕也	39	沖縄
350	松山 将太	39	兵庫
351	鈴木 尊博	39	福岡
352	鬼塚 佳	39	福岡
353	岡崎 啓	39	福岡
401	小村 真孝	40	福岡
402	児島 永	40	福岡
403	坂本 亮	40	福岡
404	廣場 優一	40	福岡

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
405	鍵山 元輝	40	福岡
406	村山 直充	40	福岡
407	平木 康孝	40	東京
408	脇元 隆次	40	福岡
409	数田 啓二	40	広島
410	中山 周一郎	41	東京
411	松山 奨	41	東京
412	寄本 晃次	41	兵庫
413	門司 聖	41	福岡
414	河野 雄三	41	東京
415	隅田 一徳	41	大阪
416	西野 貢平	41	石川
417	金子 大助	41	大阪
418	梁木 理史	41	福岡
419	岩本 宇嗣	41	福岡
420	辻 巨樹	42	大阪
421	荒島 康介	42	福岡
422	福岡 武	42	福岡
423	清水 綱之	42	栃木
424	後藤 謙仁	42	岐阜
425	草深 健悠介	42	大阪
426	稲見 晋平	43	福岡
427	永石 裕二	43	佐賀
428	高橋 裕紀	43	東京
429	後藤 周作	43	広島
430	田原 健一	43	福岡
431	柿本 義行	43	愛知
432	岩隈 剛士	43	福岡
433	上地 永次	43	福岡
434	北條 明宏	43	大阪
435	石井 教史	43	福岡
436	永元 幸裕	43	福岡
437	本多 哲郎	43	福岡
438	塚本 泰一	43	佐賀
439	脇屋 博幸	44	東京
440	内藤 裕紀	44	東京
441	結城 隼人	44	福岡
442	小方 壽浩	44	福岡
443	山本 典正	44	和歌山
444	瀧本 康介	44	福岡
445	山崎 文隆	44	東京

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
446	小林 知樹	44	福岡
447	岡本 和也	44	佐賀
448	納富 貞嘉	44	福岡
449	手嶋 努	44	佐賀
450	田中 大輔	44	福岡
998	佐藤 紘之	44	広島
801	大迫 基弘	45	福岡
802	白川 貴一	45	福岡
803	古田 英俊	45	大分
804	森本 潤	45	東京
805	渡辺 俊一	45	大阪
806	沢田 寿晴	45	北海道
807	横尾 達也	45	福岡
808	山本 博士	45	大阪
809	渡邊 康輝	45	大分
810	原 啓介	45	福岡
811	森 千尋	45	福岡
812	佐藤 勝則	45	福岡
813	辻 賢二	46	福岡
814	市場 裕樹	46	千葉
815	森上 智	46	福岡
816	渡邊 大輔	46	北海道
817	大谷 賢聡	46	大分
818	河口 純一	46	福岡
819	末松 士	46	福岡
820	高橋 英樹	46	福岡
821	首藤 真	47	福岡
822	川越 勝仁	47	鹿児島
823	富士原 裕	47	福岡
824	吉見 雅博	47	宮崎
825	崎山 庫志	47	福岡
826	木部 匡之	47	福岡
827	木村 哲也	47	広島
828	桑野 真一	47	神奈川
829	岡本 利明	47	福岡
830	七楽 剛	47	大分
831	眞野 薫	47	東京
832	須田 将啓	48	東京
833	唐木 誠	48	福岡
834	許斐 智夫	48	福岡
835	堤 英将	48	福岡

# スタートリスト③



FUKUOKA TRIATHLON 2022

JAPAN TRIATHLON AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
836	鈴木 信也	48	愛知
837	米倉 孝一	48	福岡
838	松尾 晋一	48	福岡
839	岩本 涼太郎	48	福岡
840	田中 学	48	福岡
841	富永 大介	48	佐賀
842	宮田 篤郎	48	佐賀
843	吉松 完	49	山口
844	古畑 圭一朗	49	鹿児島
845	北嶋 禎治	49	福岡
846	富田 靖生	49	宮崎
847	野仲 勝彦	49	大分
848	芹田 章博	49	福岡
849	増田 修	49	福岡
850	永椎 浩樹	49	熊本
851	中原 和浩	49	福岡
852	藤原 昭宏	49	山口
853	怡土 順治	49	福岡
854	堤 健一郎	49	福岡
855	吉松 弘樹	49	山口
856	富田 英明	49	北海道
857	飯野 宗一郎	49	神奈川
858	田中 謙一郎	49	神奈川
501	佐野 友昭	50	福岡
502	山田 康一朗	50	福岡
503	高森 強	50	福岡
504	堀江 貴文	50	東京
505	喜多 秀樹	50	福岡
506	宗 良二	50	福岡
507	古賀 崇司	50	福岡
508	白水 威彦	50	千葉
509	有光 北斗	50	福岡
510	吉武 太志	50	福岡
511	小川 佳宏	50	大阪
512	染谷 尚康	50	埼玉
513	安河内 高利	50	福岡
514	鶴田 主税	50	熊本
515	西村 久徳	50	福岡
516	井手 善彦	50	長崎
517	山本 英永	50	神奈川
518	藤中 宏二	50	東京

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
519	福元 哲郎	50	広島
520	福田 滋	50	愛知
521	堀江 明	50	福岡
522	東郷 和彦	51	鹿児島
523	内野 慎太郎	51	福岡
524	桑原 貴洋	51	佐賀
525	真嶋 謙次	51	福岡
526	東岡 芳幸	51	福岡
527	杉山 英輝	51	神奈川
528	阿部 知史	51	沖縄
529	大嶋 豪	52	山口
530	亀井 浩	52	大分
531	伊田 正信	52	福岡
532	三浦 洋司	52	福岡
533	石井 成一郎	52	福岡
534	目野 信太郎	52	福岡
535	松本 直樹	52	佐賀
536	浜田 綱太郎	52	福岡
537	高本 勝博	52	福岡
538	上原 誠司	52	大阪
539	畠中 利弘	52	福岡
540	石山 隆通	52	福岡
541	池田 純也	52	福岡
542	渡邊 修	52	福岡
543	野田 和孝	52	山口
544	長谷川 貢一	52	福岡
545	坂口 雄一郎	53	福岡
546	土田 直樹	53	千葉
547	濱田 和宏	53	山口
548	池田 徳郎	53	宮崎
549	板谷 寛之	53	福岡
550	西村 宣久	53	福岡
551	川内 佳司	53	福岡
552	馬場 正基	53	群馬
553	山崎 良	53	福岡
554	山口 征啓	53	福岡
555	野津 幸治	54	東京
556	江越 啓一郎	54	福岡
557	宮澤 典友	54	東京
558	宮崎 幸宏	54	福岡
559	林 利之	54	長崎

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
560	宮川 和秀	54	東京
561	伊藤 康行	54	熊本
562	渡邊 康介	54	愛知
563	谷口 泉	54	福岡
901	上田 潤一	55	福岡
902	西山 伸二	55	宮崎
903	恵崎 浩則	55	福岡
904	北垣 徹	55	兵庫
905	高橋 泰夫	55	岡山
906	溝上 雅人	55	東京
907	竹中 市朗	55	熊本
908	龍頭 正浩	55	福岡
909	愛甲 隆昭	56	鹿児島
910	西出 裕輔	56	福岡
911	古跡 寛	56	山口
912	城田 正俊	57	福岡
913	八次 浩幸	57	佐賀
914	山中 祐次	57	沖縄
915	海老原 豊	57	神奈川
916	尾崎 善一郎	57	佐賀
917	原 伸一	57	山口
918	山川 雅之	58	東京
919	道祖尾 伯史	58	長崎
920	清水 俊郎	58	福岡
921	福岡 剛	58	福岡
922	田中 孝一	58	山口
923	権藤 健市	58	福岡
924	三浦 健一	58	茨城
925	高木 宏嗣	58	福岡
926	橋爪 健太郎	58	福岡
927	小森谷 功	59	神奈川
928	小菅 猛	59	新潟
929	森上 健	59	福岡
930	平田 一雄	59	佐賀
931	千々和 崇	59	福岡
932	田村 一義	59	福岡
933	石河 勲	59	福岡
934	中村 雅和	59	福岡
935	野崎 貞正	59	福岡
936	分領 雅之	59	大阪
601	江田 勝善	60	福岡



FUKUOKA TRIATHLON 2022

JAPAN TRIATHLON AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES

# スタートリスト④



FUKUOKA  
TRIATHLON 2022

JAPAN  
TRIATHLON  
AGE GROUP  
NATIONAL CHAMPIONSHIP  
SERIES

RACE no.	NAME	AGE	PREFECTURE
602	木村 昌幹	60	福岡
603	Yamaguchi Ferdinand	60	東京
604	北川 浩司	60	福岡
605	岩本 正三	60	福岡
606	亀井 克之	60	大阪
607	川崎 英彦	60	福岡
608	西田 真人	60	福岡
609	浦田 誠	61	福岡
610	高木 英久	61	長崎
611	吉本 敦	61	東京
612	瀬戸 茂男	61	大阪
613	小野 弘幸	62	神奈川
614	高橋 徹	63	福岡
615	樋口 明彦	64	福岡
616	梅田 文太	64	福岡
617	菅野 了祐	64	福岡
618	金子 望	65	福岡
619	岡丸 正典	65	広島
620	内田 哲	65	福岡
621	江浦 俊文	65	熊本
622	品野 俊治	66	福岡
623	中野 義太郎	66	静岡
624	今津 文孝	67	宮崎
625	木村 光広	67	広島
626	真鍋 卓見	67	福岡
627	毛利 力	67	山口
628	上田 智	68	福岡
629	小宅 錬	69	秋田
630	平田 清巳	69	福岡
701	山道 和樹	71	福岡
702	田中 啓司	72	福岡
703	白石 直敏	74	福岡
704	濱崎 二丸	76	熊本
888	高木 茂雄	80	大阪



thanks to all sponsor & partners

GOLD SPONSER



SILVER SPONSORS



OFFICIAL DRONE PARTNER



BRONZE SPONSORS



## STANDARD SPONSORS



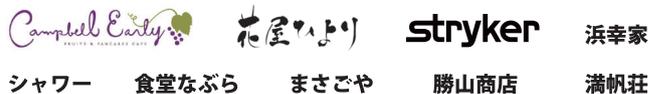
## BOOTH SPONSORS



## MECHANIC SPONSORS



## OFFICIAL SUPPLIER



## SPECIAL THANKS



Thank you for everything